

令和7年2月6日

岩倉市議会議長
関戸 郁文 様



厚生・文教常任委員会
委員長 片岡健一郎

厚生・文教常任委員会行政視察報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和7年2月3日（月）～4日（火）
- 2 視察先 大阪府豊中市（2月3日）
大阪府泉大津市（2月4日）

3 出席人数及び氏名

7名	<委員長> 片岡 健一郎	<副委員長> 須藤 智子
	梅村 均	大野 慎治
	木村 冬樹	谷平 敬子
	堀江 珠恵	

4 復命事項

別紙のとおり

厚生・文教常任委員会行政視察報告書

文責 片岡健一郎

【視察先】大阪府豊中市

【テーマ】図書館子育て支援サービス（一時託児）

【事業名】図書館で一時保育～ほっと一息 私の時間～

【事業概要】図書館子育て支援サービスは図書館を利用しにくかった層へのサービスの拡充を検討する中で子育て世帯に対する新たなサービスとして、利用しやすく、かつ滞在してみたいと思う環境整備の一環として乳幼児のスペース拡充とともに、図書館で一時保育を実施することとしたものです。

【拠点概要】

- ・施設名所 豊中市立岡町図書館（他にも千里図書館、野畑図書館で実施中）
- ・住所 〒561-0884 大阪市豊中市岡町北3丁目4-2
- ・定員 6名～12名（対象保育月齢により、受入れ人数が変更）
- ・開所日・時間 月1回 10時15分～12時15分
- ・設備 各館での実施場所は、集会室などを使用
- ・事業形態 民間業者への業務委託（委託料は年間105万円ほど）
- ・各館の保育士人数 3名

【調査項目】

① この事業を始めることになったきっかけ、背景は

図書館が生涯を通しての学びの場となり、地域活動の活性化やまちづくりに資する役割を担う中でこれまで図書館を利用しにくかった層へのサービスの拡充を検討していた。子育て世帯に対する新たなサービスとして、利用しやすく、かつ滞在してみたいと思う環境整備の一環として乳幼児スペースの拡充とともに、図書館で一時保育を実施することとした。

② 事前予約制にしている理由はなぜか

一時保育を利用するにあたり、持ち物やお伝えしたいことがあり、それらをお伝えする為事前予約制としている。定員を上回る際は抽選としている。（キャンセルにより繰

り上がりあり)

- ③ 令和5年9月から始まった事業で、定員が6人～12人と幅があるが、利用人数はどれほどか

各館、毎月6名～8名の利用者がおり、ほぼ抽選になるほどの利用申し込みがある。

- ④ 利用時間を午前中の2時間のみとして経緯は

利用ニーズが高い時間帯を検討するなかで親子が外出時間しやすいと思われる午前中の2時間とした。

- ⑤ 対象を生後7か月から未就学児にした理由は

委託業者と対象年齢を検討する中で業者からのアドバイスとして7か月からが安心して預けられる年齢であろうというアドバイスもあり、7か月からとした。

- ⑥ 保育料を550円にした根拠はどのようなか

本事業を開始する前より豊中市の男女共同参画センターで同様の事業を行っており、そこでの保育料が550円ということで事業開始にあたり、同じ金額で設定をした。

- ⑦ 年間の委託料など、この事業における支出額がどうか

委託料は年間1,058,508円である。

- ⑧ 支出の財源は。また、大阪府で特別に子育て支援事業に対する補助はあるか

財源は全額一般財源である。また大阪府の補助としては新子育て支援交付金がある。

- ⑨ 集まりにいくいと言われる中、保育士の募集はどのようにされているのか

保育士の確保を含め、一括で民間業者へ委託しているので、市は保育士の募集はしていない。事業を始めて2年ほど経過しているが、委託業者の方で必要な保育士の確保は、できている

- ⑩ 数か所(岡町、千里、野畑)での事業展開となっているますが、保育士を配置するにあたっては、どのような組織体制、運営体制になっているか

各館に配置する保育士の人数は3名として固定しており、3名で受入れが可能な人数を定員としている。受入れ可能人数は保育対象の月齢によって変わるが例えば1歳までの子どもであれば、1名の保育士で担当できるのは2名としている。基準については(公社)全国保育サービス基準にもとづくものである。

- ⑪ 利用者の意見や要望はどうか

「子どもが生まれてから久しぶりにゆっくりと読書ができた」「育休中に資格を取ろうと思い勉強のために利用した」「上の子に時間を使うことができた」「550円とリー

ズナブルで申し込みやすい」など喜んでいただける声が多く、読書に親しむ時間となっているとともに、図書館に来館するきっかけづくりにもなっていると考えている。

- ⑫ 申し込み多数の場合の抽選方法は、抽選になってしまったことはあるか

エクセルシートに申込者を並べ、乱数を付与しその乱数順に並べた上位を当選者としている。当選人数は子どもの月齢によって変動する。ほぼ毎月抽選になっている。落選した場合でもキャンセルができれば繰り上げで利用できる。キャンセルする際は可能な限り早く連絡をいただくことを申込時にお伝えし、少しでも多くの市民に利用いただけるように考慮して運営している。

- ⑬ 利用後、アンケートに答えるとマチカネポイント100ポイントがもらえるとのことだが、このマチカネポイントとはどのようなものか

2022年にスタートした豊中市独自のポイント制度であり、市内1500店舗で1ポイント1円として利用できる。アンケートの回収率を上げる為に付与しており、実際に回収率が高いものとなっている。

- ⑭ なぜ市外の人利用も認めているのか

事業開始当初は広域的な考えで多くの方に利用していただくことを考え、市外の方の利用を認めていたが申込みが多くなり、令和6年9月から豊中市民を優先させることから市民限定のサービスとした。



行政調査の様子

マチカネ
ポイント
100P
貯まるよ

更新期間 令和7年度(2025年)5月まで

図書館で一時保育 ～ほっと一息 私的时间～
岡町図書館 千里図書館 堺図書館

定員アップ!!
一時保育
保育士さんが増えました

子育て中でも、たまにはゆったりと自分時間を過ごしませんか。
岡町図書館では、保育士がお子さまを **2時間** お預かりします。
本を読んでいただけるスペースもご用意しています。



場所: 岡町図書館
日時: 毎月第3金曜日 10:15～12:15
対象: 豊中市在住の7か月～就学児童とその保護者
(※2024年9月からご利用いただけるようになりました)
保育料: 子ども一人につき550円(税込)
定員: 各回6～12人(子どもの年齢による)
読書棚に連絡がつくように、館内でお過ごしください
初居後、アンケート回答でマチカネポイントが溜まります
お問合せ: 岡町図書館 06-6843-4553
(随時日の10時～17時まで)

4月より
保育士1名増員で
定員が増えました!

豊中市立図書館HP
「図書館で一時保育」

詳しくは豊中市立図書館HPをご覧ください



本事業を案内するチラシ



幼児コーナー



点字図書室



移動図書館



豊中市立岡町図書館前にて

【所感】

豊中市は子育て支援を重点施策と定め、あらゆる取り組みを実施している。そのような中、図書館での一時預かりというサービスを2年前から開始した。子育て支援の一環で始めた本サービスだが、図書に対する行政の熱量が非常に高いことから生まれたサービスであることも感じられた。図書館の運営においてもきめ細かなサービスが展開されており、例えば専用フロアを設けた点字図書室や、世界50か国の図書を集めたコーナー、70年以上の歴史がある移動図書館などである。図書館を利用したくても、利用しづらい世帯があり、その世帯に対して何ができるのか、子育て世帯にも読書をというコンセプト、少し息抜きをしてほしいというきめ細かなサービスを提供してみてもどうかということから始まった本事業が現状の子育て世帯にマッチし、毎回抽選になる申込みがあり、利用者からも好評の声が届いている。このように図書館の利用促進と子育て支援という2つの課題を同時に解決に導くサービスの展開の手法は今後の岩倉市においても参考にすべき施策であると感じた。

厚生・文教常任委員会行政視察報告書

文責 片岡健一郎

【視察先】大阪府泉大津市

【テーマ】あしゆびプロジェクト

【事業概要】 現代は子どもの約8割が足部に何らかの異常を抱えていると言われている。

また、高齢者の要介護の原因となる「転倒」は、あしゆびが浮いていることに本質的な原因があると言われている。幼児期からあしのゆびを使った良い姿勢を覚え、日常の遊びや生活の中であしゆびを鍛えることは、体幹を安定させ、生涯寝たきりにならずに健康な体を維持するための土台づくりにつながると考えている。

泉大津市では、あしゆび運動を市民運動としてみなさんに広く知っていただき、幼児教育から高齢者の転倒防止などを含む健康寿命の延伸まで、あしゆびの健康から展開するプロジェクトを官民連携のもとで進め、泉大津市から全国に発信している。

あしゆびプロジェクト 主な事業

- パートナーシップ宣言
- 親子で運動遊び教室×体育あそびコーディネーター
- 足袋シューズ
- おづみんたいかん体操×木場克己トレーナー監修
- あしゆび測定×㈱ドリーム・ジーピー×大阪体育大学
- ファンクショナルマットで体幹強化×木場克己トレーナー
- 教員向け体幹プログラム研修×一般社団法人スポーツ能力発見教会（DOSA）
- ファンクショナルポール等で体幹強化×木場克己トレーナー
- あしゆび市民モニター×㈱ドリーム・ジーピー
- あしゆび健康セミナー×ウエルネスネット株式会社×NASYU株式会社
- あしゆび体幹体操×木場克己トレーナー監修
- 介護予防サークル×大阪府立大学
- 筋力レベルアップ教室×スポーツクラブルネサンス
- あしゆび力測定×ひとり一足運動
- あしゆびダンス×振付師 akane

①あしゆびプロジェクトの立ち上がった背景と経緯、事業内容は

健康寿命延伸のためには、生涯寝たきりにならない身体づくりが大切。

高齢者の要介護の原因となる「転倒」は、バランス能力の低下や下肢の筋力の低下から引き起こされると言われている。子どもの約 8 割が足に何らかの異常を抱えていると言われており、幼児期から足の指を使った正しい姿勢と動作を覚え、体幹を安定させることが、将来の健康づくりにつながると考えている。あしゆび運動を市民運動として広く知っていただき、幼児教育から高齢者の転倒防止、フレイル予防などを含む健康寿命の延伸まで、あしゆびから展開する健康プログラムを「官民連携」「市民共創」のもと進め、平成 30 年度から「あしゆびプロジェクト」として、泉大津市から全国に発信している。プロジェクトの概要としては、テーマを整えるとしターゲットは子どもから高齢者まで全世代とする。

②平成 30 年度からの事業だが、実施していくなかで、改善した点や開始当初との違いはあるか

毎年、事業内容を改善している。特に健康状態を可視化することに注力している。

③現時点での成果、進捗状況は

設定した評価指数と評価方法をもとに、収集したデータを用いてあしゆびプロジェクト全体の効果検証を行うとともに、対外的に政策効果をプロモーションできるよう周知ツールを作成していく。

④取組の期間と費用は

年間 3500 万円程度である。(検証に 2000 万程度)

⑤企業や大学との連携の効果は

専門的な分析やアドバイスを得ることができる、企業や大学にとっても多くの数値データが取得できる、企業 PR ができる、アンケートが取れるなどというメリットがある。

⑥YouTube 動画はどのような効果があるか

市民に対してのあしゆびプロジェクトの PR、また市外に向けての PR の効果もあると考えている。

⑦市民の反応課題はどうか

親子で参加する事業などもあり、親世代への健康意識の向上が上がることを期待している。多世代で参加できるような事業を今後は強化していきたい。



行政視察の様子



泉大津市役所 正面玄関前にて



あしゆびプロジェクト パンフレット



あしゆびプロジェクトパンフレット



本会議場にて

【所感】

健康は足元からというところに着眼し生涯寝たきりにならない身体づくりが大切ということから「あしゆびプロジェクト」は始まっている。対象は幼少期からとすることにより幼児から足の指をつかった正しい姿勢と動作を覚え、体幹を安定させることが、将来の健康づくりにつながるという考えは、岩倉市が掲げる生涯健やかに幸せな人生を送ることを目的とした健幸という概念とも一致すると考える。このプロジェクトは全世代に向けて、それぞれの世代にあった様々な施策を展開している。その施策の中で企業や大学との協働も行っており、様々な市民を巻き込んでいることから官民連携や市民協働の成功事例を学ぶことができた。あしゆびプロジェクトを始めるにあたってその根拠となる足の状態を調査し、その後の調査も実施し、あしゆびに関する施策によってどのような効果があるのかを数値化し、効果を可視化することは、次の施策の展開に役立っている。岩倉市においても健康に関する施策は課題であり、様々な施策を実施しているところであるが、ここまでターゲットを「足」に絞った施策は実施していない。ここまで絞った施策は市民にとって非常に分かりやすく、健康への意識付けも効果があるのではないかと感じた。また企業や大学にもメリットがある事業へ巻き込む手法についても参考になる部分があった。

厚生・文教常任委員会行政視察報告書

文責 片岡健一郎

【視察先】大阪府泉大津市

【テーマ】アビリティ支援プログラム

【事業概要】本プログラムは、市民のアビリティ向上と官民連携推進を目的に、「ヘルスケア」「教育」「環境」関連のノウハウやソリューションを持つ民間事業者が、市民のアビリティ向上に資するプログラムを市に登録する制度。

■登録プログラム

教育：①年金セミナー、お金のキホンセミナー（日本生命保険相互会社）

【内容】公的制度の仕組み・受給額・セカンドライフに必要な資金の説明等
（希望者へは、別途独自のライフプランシミュレーションを提供可）

健康：②InBody 測定会の実施（住友生命保険相互会社）

【内容】各種イベント等での出張による体成分分析装置「In Body」を活用した、体組成の測定サービスの提供。「体水分」「タンパク質」「ミネラル」「体脂肪率」「筋肉量」が測定可能。

③ 健康チェックイベントの実施（明治安田生命保険相互会社）

【内容】ベジチェック、脳年齢、血管年齢の測定

【調査項目】

① 現在、民間業者による登録は何件か

現在は教育1件、健康2件 計3件

② これまでのアビリティタウン構想事業で、研究成果のあった事業やその内容を可能な範囲で教えてほしい。

令和6年11月10日の「2024 いずみおおつスポーツフェスティバル」健康ブースにて、住友生命保険相互会社によるInbodyの測定会を実施。会場では身体の見える化を体験できる目玉コンテンツとして多くの方に「Inbody」による測定を体験いただいた。

③ 「市民共創」とは何か

市民共創とは、市民と事業者・団体・行政などが一体となり、市民サービスの向上や新しい価値の創造を行うこと。

④ アビリティ支援プログラムの種類と条件は

プログラムの種類、条件については以下のとおり。

■種類

- (1) 講座への講師派遣
- (2) イベントの開催・協力
- (3) サービス・ツールの提供
- (4) その他アビリティタウン構想の実現に資するもの

■登録条件

- ・無償または、低額（保険料や材料費等の実費負担のみ）で提供可能なこと
- ・プログラム内における販売等の営業活動は行わないこと
- ・プログラム参加者の個人情報の収集は、本人の同意が得られた範囲に限る

⑤ 現在決定しているプログラムはあるのか

現時点では、アビリティ支援プログラムのコンテンツを活用の相談は受けていない。

⑥ 「健康・ヘルスケア」「教育」「環境」のうち、特にチカラを入れたいものはあるのか

登録プログラム数が少ないため、全分野のプログラム充実を図っていきたい。

⑦ サービス・ツールの利用について、低額での利用は難しいのか

登録されているプログラムは、無償または、低額（保険料や材料費等の実費負担のみ）で提供可能なコンテンツだけを登録している。また、専門的な機器の使用を伴うプログラムも、提供事業者による実施や依頼者が使用できるようサポートいただいております、利用に問題はない。

⑧ 現在までの課題は何か。

本制度の課題は以下のとおり。

- ・事業者への制度の認知度が低い。
- ・登録件数が少なく、活用できる部署が限られている。
- ・登録プログラムが、無償もしくは実費のみで提供できるものに限定されているため、事業者にメリットを感じてもらえなければ登録してもらうことが難しい。

⑨ 今後の目標は

現在、泉大津市アビリティ支援プログラムは、市の各部署からの依頼のみ受け付けており、市民団体等からのプログラム利用依頼は受け付けていないため、今後、登録プログラムを増加させ、庁内での各部署の活用により官民連携を推進するとともに、市民団体もプログラムを活用できるよう体制を整えていきたい。

【所感】

社会問題が多様化・複雑化する中で行政だけの能力では限界がある。そこで泉大津市は特に「健康」「教育」「環境」の3つの重点分野として、官民連携、市民共創で進めてきている。アビリティ支援プログラムはヘルスケア関連や教育関連、環境関連の民間事業者等が、その保有するノウハウやソリューションを活かして、市民や自然環境のアビリティ（能力や才能、健康）向上を支援するプログラムを提供する仕組みを構築した。岩倉市においても行政課題が年々、多様化・複雑化してきており、民間活力の活用が急務である。泉大津市における官民連携の取組は本市においても大いに参考になる事業内容であると感じた。ただし行政の目的と民間の目的が一致しないこともあり、官民の対話を重ね、共通のビジョンを明確にすることが重要であるとする。官民連携は今後、ますます重要になってくると思われ公共サービスの質の向上や財政負担の軽減といった利点がある一方で目的の不一致や透明性の確保などの課題も抱えている。「マルチパートナーシップ」を掲げる本市においても「待ち」の体制から「募る」体制へと積極的な連携姿勢を望む。

厚生・文教常任委員会行政視察報告書

文責 片岡健一郎

【視察先】大阪府泉大津市

【テーマ】マタニティ応援プロジェクト～妊婦に金芽米をプレゼント～

【事業概要】泉大津市では「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」の実現に向けて、多様化する子育てを取り巻く課題や環境に対応するため、子どもを安心して産み育てやすい環境づくりの取組を推進してる。本プロジェクトは妊娠期間を健康に過ごしていただくため、出産予定月まで毎月 10kg の栄養価の高い「金芽米(きんめまい)」を配付するもの。「市民の健康増進」「安心安全な食糧の安定確保」の実現に向けて東洋ライスと提携した。

●対象者

1. 令和 6 年 4 月 1 日以降に妊娠届又は受診券交付申請書を提出された妊婦
2. 金芽米支給月 1 日時点で、泉大津市に住民登録がある妊婦
3. 金芽米の配送日に泉大津市に居住し、受け取ることができる妊婦

●金芽米の提供期間

妊娠届又は受診券交付申請書を提出した翌月から出産予定月まで

●金芽米配付時期

月末頃配送予定

●金芽米とは

金芽米（きんめまい）は、東洋ライスの独自の精米技術で、胚芽の舌触りの良くない部分を除いた胚芽の基底部「金芽（きんめ）」と、お米の栄養と旨み成分が含まれる「亜糊粉層（あこふんそう）」を残した、とても美味しい無洗米です。胚芽の基底部が、「金の芽」のように見えることから、金芽米という名前がつけました。※東洋ライスホームページより

【調査項目】

① 8つの市町村との農業連携に至った経緯は

② プレゼントをお米にした理由は

「食」から市民の健康を支える取組が必要と考え、栄養価の高い主食である米とした。

③ 金芽米の仕入先はどのように決めているのか。契約はスムーズか。

食糧危機や健康増進を話す中、東洋ライス社長と意気投合し市長のトップダウンにより業者を東洋ライスで決定した。初年度は東洋ライスが無償で金芽米を提供した。

④ 妊婦からの声はどのようなものがあるか

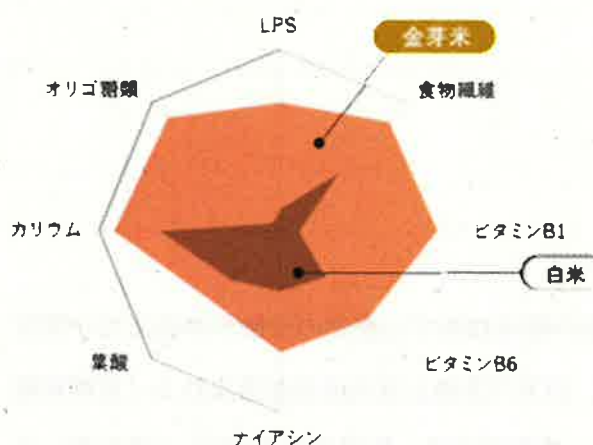
泉大津市に引っ越して良かった、体調が良くなった、栄養に気をを使うようになった、経済的に助かったなどの様々な声もあり満足度・幸福度の向上、経済的支援、健康増進、行動変容にもつながっている。健康効果については本プロジェクトに参加した妊婦の健康への影響効果をまとめた検証レポートを発表した。

⑤ 生産者からの声と金芽米プレゼントへのメッセージは添えるのか

メッセージとともに健診などのお知らせも同封している。

⑥ 毎月プレゼントするとのことだが、なぜ毎月なのか

出産までの間、栄養のあるお米を食べ元気なお子様を生み育ててほしい。買い物の負担軽減にもつながると考え、配送により毎月としている。



白米と比較し栄養価の高い金芽米

全国初!
マタニティ応援プロジェクト

泉大津市では「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」の実現に向けて、多様な子育てを取り巻く課題や環境に対応するため、こどもを安心して産み育てやすい環境づくりの取組みを推進しています。
本プロジェクトは妊娠期間を健康に過ごしていただくため、出産予定月まで毎月10kgの米価の高い「金芽米（きんめまい）」をお送りします。
妊娠中の方はもちろん、ご家族でお召し上がりいただけます。

●対象者
①令和6年4月1日以降に妊娠届又は受胎券交付申請書を提出された妊婦
②金芽米支給月1日時点で、泉大津市に住民登録がある妊婦
③金芽米の配達日に泉大津市に居住し、受け取ることができる妊婦

●金芽米の提供期間
妊娠届又は受胎券交付申請書を提出した翌月から出産予定月まで

●金芽米の配達時期
月末頃配達予定

同意・確認事項	
☐	米の発送に必要な情報(氏名・住所等)について、委託先の事業者と相互に確認・共有することに同意します。
☐	住民票に記載されている住所以外の配送はできません。
☐	産婦り出産や入院等で、米の配送を希望しない場合は、子育て応援課まで連絡をお願いします。
☐	1か月以上不在となる場合のみ、一時的に配送を休止することができます。
☐	米の支給後に本プロジェクト支給要件に該当しないことが判明した場合には、支給した米に相当する金額を返還していただきます。



プロジェクト課
(泉大津市HP)



金芽米について
(東洋ライスHP)

「泉大津市マタニティ応援プロジェクト」に関するお問合せ
泉大津市子育て応援課 TEL: 0725-33-1131 (平日8:45-17:15)

「金芽米」に関するお問合せ
東洋ライス株式会社 お客様相談室 TEL: 0120-61-7550
(平日10:00-12:00/13:00-16:00)

マタニティ応援プロジェクト チラシ

【所感】

生まれる前からの子育て支援という観点、健康増進の観点、定住促進という観点から本事業はスタートしている。妊娠届を提出した翌月から出産時期まで毎月、10キロのお米を配送する本事業だが、子育て世帯へは非常にインパクトのある内容である。参加者の声を見ると、経済的支援の側面はもちろんのこと、満足度や幸福度の向上にも寄与している面が見受けられ、シビックプライドの醸成という効果もある。また健康や食生活について考えるきっかけになったなど行動変容にもつながっている。本事業の素晴らしいところは、ありがちな物品を配付して終わりではなく、目的である健康効果についてしっかりと検証しているところである。101人の妊産婦を対象にアンケートをとり、便秘や胃の張りなどの妊娠中の体調不良が軽減したこと、また生まれた赤ちゃんの体重と1か月健診のデータを検証し、体重が過去4年間の各年度平均と比較して増加しているなど、データを収集し、この施策の効果を測定している。まさにPDCAサイクルをしっかりとまわしながら実施している事業であり、参考になった。

